



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

7月号

令和3年6月30日
横浜市立境木小学校

今、できることを積み重ねて、よりよい境木小をめざして

副校長 本田 昌彦

少し遅くはなりましたが、学校だよりで、ご挨拶をさせていただきます。「はじめまして、瀬谷区二つ橋小学校から転勤してきました副校長の本田昌彦です。微力ではありますが、境木小学校の子どもたちの笑顔のために、そして保護者、地域の皆様の信頼を得られるように一生懸命、働かせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。」

初日の着任式で、「空が近くに感じ、とても広々と感じるができる校庭が大好きです。」と境木小学校のよいところとして、子どもたちに伝えました。そして、この3か月間で、さらに境木小学校のよいところを発見しました。それは、とても元気のよい朝の挨拶ができる子どもたちだということです。

朝、プール門にいと、ほとんどすべての子どもたちが、元気のよい「おはようございます」という挨拶とともに、にこにことした笑顔が見られるのです。当然、顔の半分はマスクに隠されていますが、とても心が温くなる優しい目の表情がうかがえます。

また、門の前を通る地域や保護者の皆様と挨拶ができるだけでなく、中学生や高校生までもが「おはようございます」と、返事を返してくれます。中高生は、気恥ずかしさが先に立ち、挨拶を避ける生徒が多くみられますが、そんなことは微塵もなく、素直な挨拶に清々しさを感じます。

そして、ある学級の道徳の時間では、親切にしてもらったエピソード大会が始まり、最近のことから昔のことまで、いろいろな場面で親切にしてもらったことを、うれしそうに話し、それを一生懸命に聞く子どもたちの姿が見られました。親切という行為が積み重ねられ子どもたちの心の成長につながっていると感じます。

平和台・権太坂・境木地区の教育力の高さ、素晴らしさを感じました。ご家庭での教育がしっかりしているからこそ、子どもたちが身に付けているよい習慣ではないでしょうか。これも、境木小学校のよいところだと感じています。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない社会状況ではありますが、学校では感染症対策をとりながら、異学年交流のたてわり活動が始まりました。初めての顔合わせの時間では、これからの活動が楽しみでならない様子が見られました。また、先日お知らせしましたGIGA学習開きで、一人一台のiPadを学びのツールとしての活用が始まりました。

今までのよい教育活動は継続し、新しい時代のiPadを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」にも取り組んでまいります。これからも保護者・地域の皆様のご支援と、ご理解ご協力をお願いいたします。

新しい職員の紹介 6月29日より算数少人数・TT指導（3,4年生）として
大久保房代教諭 が着任しました。

閉庁日について

本校の夏の閉庁日は、8月3日（火）から16日（月）です。この期間は土日・祝日同様、閉庁といたします。

<閉庁期間中の対応について>

緊急性がない場合は、閉庁日終了後学校へご連絡ください。

緊急時は西部学校教育事務所（336-3743）において対応いたします。